

平成22年度
第3回大分大学福祉科学研究センター講演会

認知症の予防・ 早期発見と 地域ネットワーク づくり



会場追加のご案内

(本会場の申し込みは締め切りました)

早くからたいへん多くの申し込みをいただき、ありがとうございました。

予定しておりました本会場の定員を超えましたので、急きょサテライト会場（本会場の様子をスクリーンにて上映し、それを見ていただく部屋）を設置することになりました。

詳細は当センターまでお問合せくださいませ。

大分大学福祉科学研究センター

TEL097（554）7450

平成22年度
第3回大分大学福祉科学研究センター講演会

認知症の予防・ 早期発見と 地域ネットワーク づくり



とき

平成23年2月19日(土)
13:30~16:00(12:30開場)

12:30から
会場ロビーで
認知症早期診断の
タッチパネルの体験
もできます。

参加費
無料

(事前申込が必要です)

ところ

大分大学 旦野原キャンパス 六角堂(第一大講義室)

基調講演

「認知症の予防と早期発見」

吉岩 あおい (大分大学医学部附属病院総合診療部)

パネルディスカッション

■パネリスト

○「杵築市における認知症予防の取組み」

▶杵築市介護保険課地域包括支援センター 保健師 河野由紀子

○「家族の対応の体験談」

▶認知症の人と家族の会大分県支部 世話人代表 中野孝子

○「地域包括支援センターの取組み」

▶大分市城東地域包括支援センター 主任介護支援専門員 友昌世

○「由布物忘れネットワークの取組み」

▶由布市 佐藤医院 院長 佐藤慎二郎

■コーディネータ

▶大分大学経済学部 教授 奥田憲昭

認知症の予防・早期発見と 地域ネットワークづくり

認知症の発現率については諸説がありますが、中程度および高程度の認知症の発現率を、65～69歳で2%、70～74歳で4%、75～79歳で10%、80～84歳で20%、85歳以上で30%としますと、現在、中程度および高程度の認知症の人は大分県で35,210人程度と推定されます。今後、高齢化率特に後期高齢化率が高くなるのにもとない、さらに増加していくことが予想されます。

こうしたなか認知症が進行した人のケアを考えることも大切ですが、それと同時に認知症にならないようにできるだけ予防すること、認知症を出来るだけ早期に発見して治療することも大切ではないかと考えます。そこで今回、大分大学福祉科学研究センターでは、「認知症の予防・早期発見と地域ネットワークづくり」をテーマとして広く市民を対象に講演会を開催します。

基調講演

「認知症の予防と早期発見」

吉岩 あおい (大分大学医学部附属病院総合診療部)

プログラム

12:30	開場
13:30	開会
13:30～13:35	主催者挨拶
13:35～14:30	基調講演 「認知症の予防と早期発見」
14:30～14:40	休憩
14:40～16:00	パネルディスカッション 報告60分・質疑応答20分
16:00	閉会

プロフィール

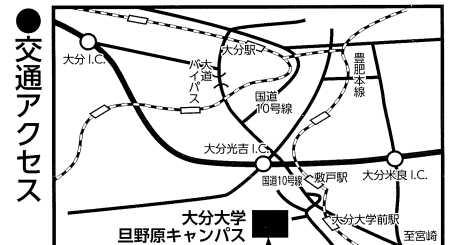
平成 元年 3月	大分医科大学卒業
平成 2年 5月	大阪大学医学部附属病院 第4内科(現老年・腎臓内科学講座) 医員
平成 3年 6月	医誠会病院内科医員
平成 5年 6月	大阪大学老年病医学講座 研究生
平成 8年 7月	大阪大学医学部附属病院第4内科医員
平成10年10月	医学博士取得(大阪大学13509)
平成11年 7月	同上 退職
平成11年 8月	医誠会病院内科医長
平成14年 1月	十三医誠会病院 院長
3月	同上 退職
4月	大分医科大学医学部附属病院 総合診療部入局
平成15年 6月	同上 助手
平成19年 4月	大分大学医学部附属病院(総合診療部) 助教
4月	同上 診療講師
現在に至る	
平成16年 4月	厚生労働省 老人保健健康増進等事業 かかりつけ医の痴呆診断技術向上に関するモデル事業 講師
平成17年 4月	日本認知症ケア学会「認知症」対応実践講座講師

事前に参加申し込みが必要です。(定員280名：先着順)
2月15日までにFAXまたはメールで申し込みをお願いします。

お問い合わせ／申し込み先

大分大学福祉科学研究センター

〒870-1192 大分市旦野原700番地 TEL/FAX 097(554)7450
E-mail : fukusi@oita-u.ac.jp http://www.hwrc.oita-u.ac.jp/



平成22年度 第3回 大分大学 福祉科学研究センター講演会申込書

所属先	
代表者名	
連絡先	
参加人数(代表者含む)	

